障がいのある人もない人も共に暮らせる
新座市をつくるための調査
結果報告書
【概要版】

令和８年３月

新　座　市

目　次

１　調査の概要 １
２　現在や今後の暮らしについて.................................. ２
３　医療的ケアや介護について.................................... ５
４　日中活動や就労について...................................... ９
５　権利擁護について １０
６　コミュニケーションについて.............................. １５
７　災害時の避難について.................................. １９
８　保護者の方への調査について（障がいのある児童）............. ２１

　この概要版は、「障がいのある人もない人も共に暮らせる新座市をつくるための調査結果報告書」（令和８年３月）の成人調査の結果及び障がいのある児童調査の結果の区分ごとに各調査の節の中から主な調査結果を抽出したものです。
　詳しくは、市ホームページで、結果報告書本編をご覧ください。

「障がいのある人もない人も共に暮らせる新座市をつくるための調査結果報告書」

https://www.city.niiza.lg.jp/soshiki/24/shougaikekkahoukokur07.html

１　調査の概要

１　調査の目的

この調査は、障がい者の福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、「第８期新座市障がい福祉計画」及び「第４期新座市障がい児福祉計画」策定のための基礎資料を収集することを目的として実施しました。

２　調査方法及び調査期間

調査方法：郵送配布・郵送回収
調査期間：令和７年９月

３　調査対象者及び回収結果

令和７年８月１日現在、本市に住所を有する方で、１８歳以上の障がい者及び１８歳未満の障がい児を下記の区分により抽出しました。

調査区分	対象者数（人）	有効回収数（人）	有効回収率（%）
①　身体障がい者	３，７０４	２，１４９	５８．０
②　知的障がい者	７０８	３５７	５０．４
③　精神障がい者	２，１９８	９２３	４２．０
④　障がい児	１，０７８	５０１	４６．５
合　計	７，６８８	３，９３０	５１．１

図　成人（年齢）

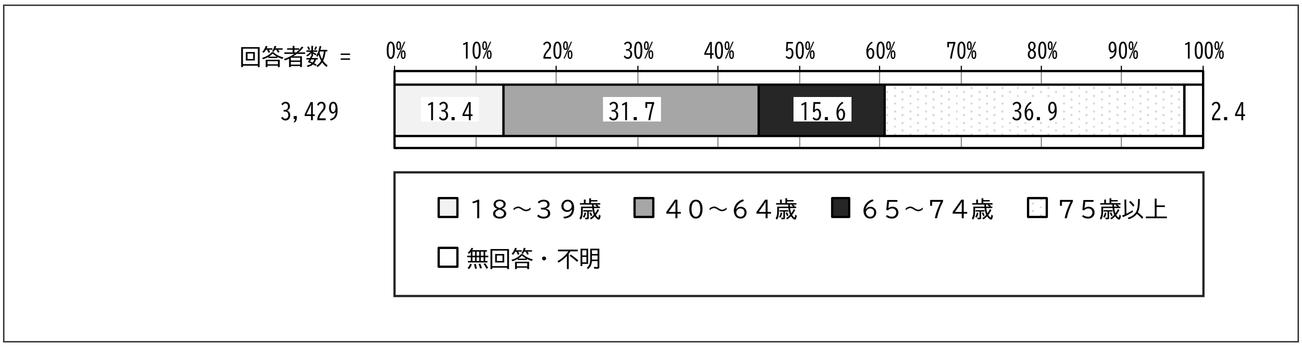
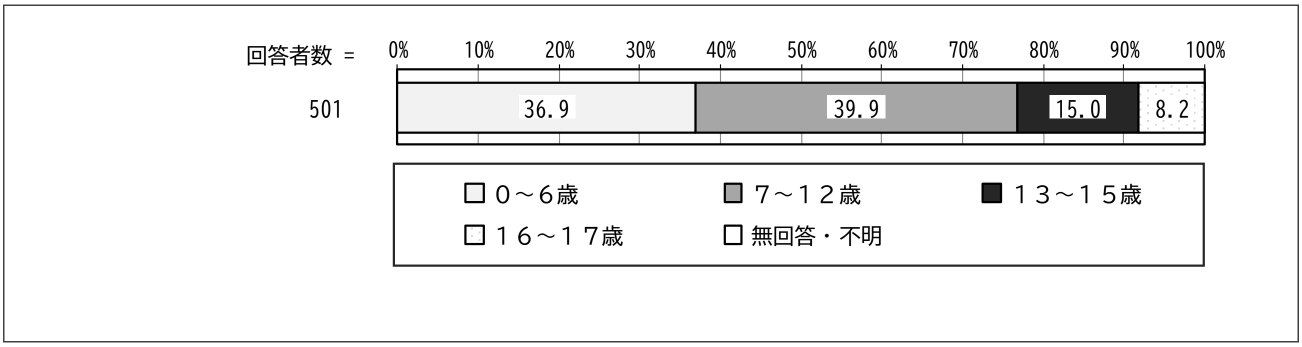


図　障がいのある児童（年齢）



２　現在や今後の暮らしについて

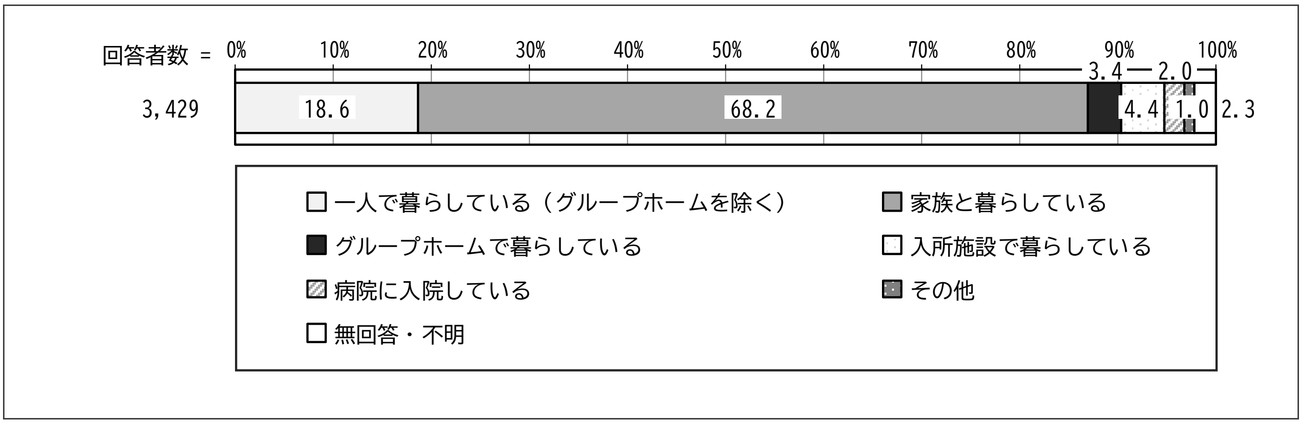
【結果報告書２９ページ】

現在の暮らし方（成人調査：問９　単一回答）

問９　あなたは現在、どのように暮らしていますか。（１つに○）

「家族と暮らしている」の割合が６８．２％と最も高く、次いで「一人で暮らしている（グループホームを除く）」の割合が１８．６％となっています。

図　現在の暮らし方（単一回答）



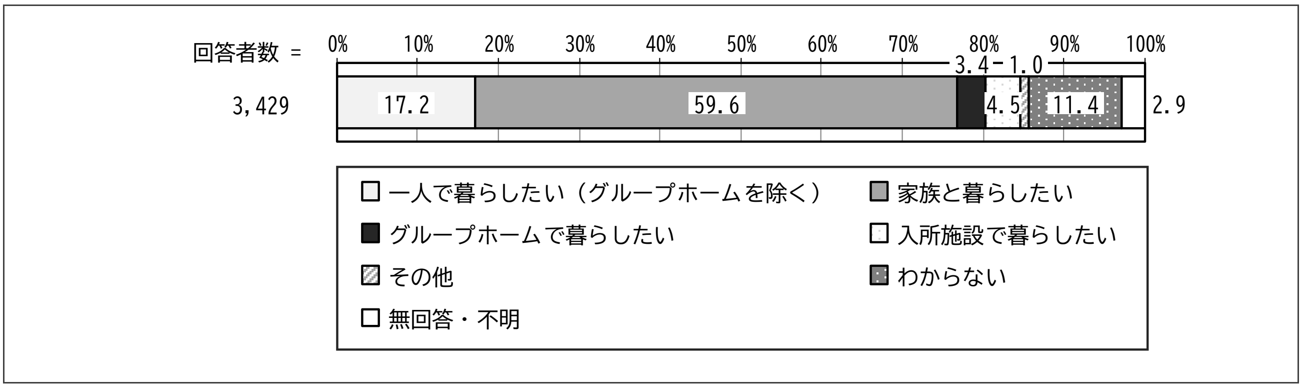
【結果報告書３１ページ】

３年以内の近い将来希望する暮らし方（成人調査：問１０　単一回答）

問１０　あなたは３年以内の近い将来、どのように暮らしたいですか。（最もあてはまるものに１つだけ○）

「家族と暮らしたい」の割合が５９．６％と最も高く、次いで「一人で暮らしたい（グループホームを除く）」の割合が１７．２％、「わからない」の割合が１１．４％となっています。

図　３年以内の近い将来希望する暮らし方（単一回答）



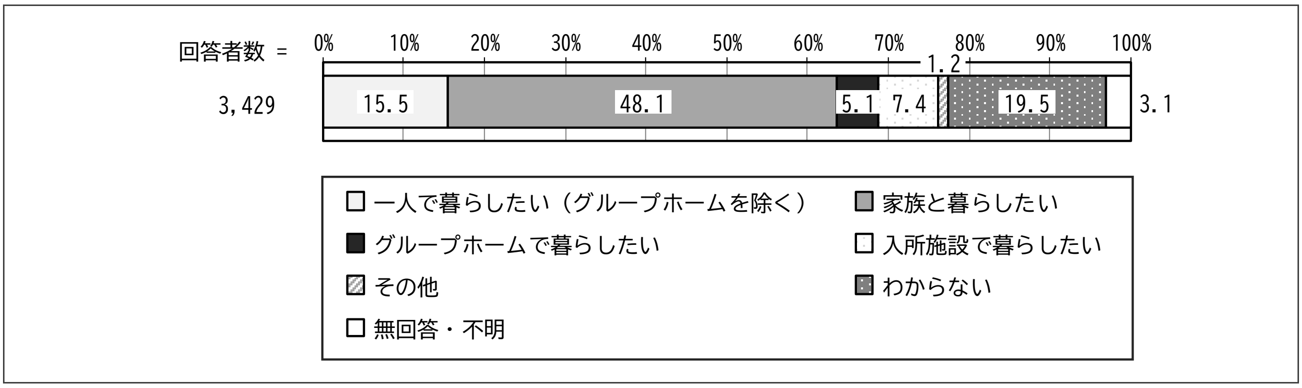
【結果報告書３２ページ】

３年より後の遠い将来希望する暮らし方（成人調査：問１１　単一回答）

問１１　あなたは３年より後の遠い将来、どのように暮らしたいですか。（最もあてはまるものに１つだけ〇）

「家族と暮らしたい」の割合が４８．１％と最も高く、次いで「わからない」の割合が１９．５％、「一人で暮らしたい（グループホームを除く）」の割合が１５．５％となっています。

図　３年より後の遠い将来希望する暮らし方（単一回答）



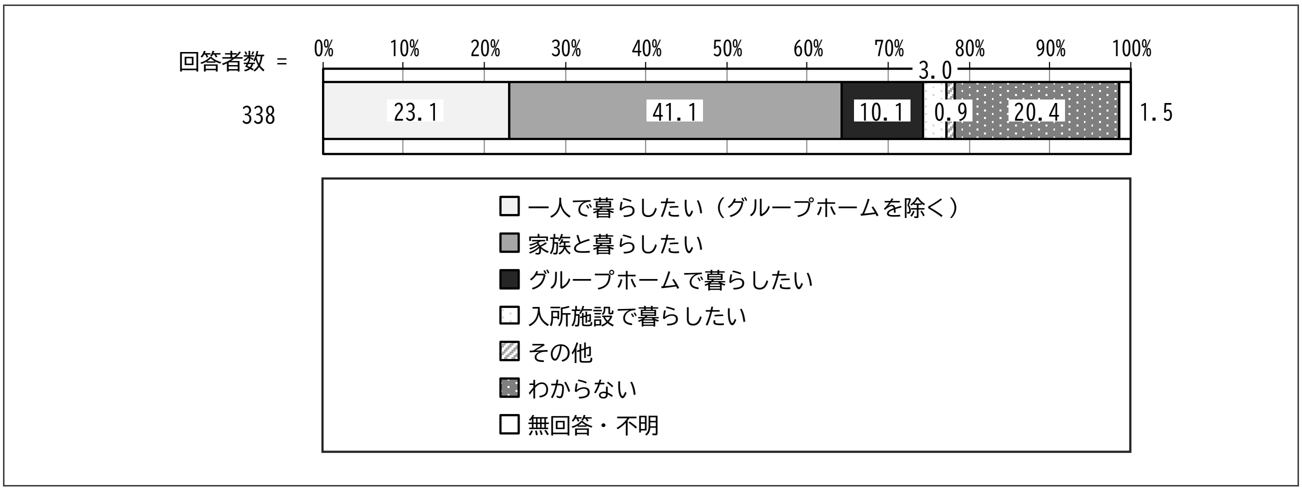
【結果報告書１３５ページ】

将来希望する暮らし方（障がいのある児童調査：問２１　単一回答）

問２１　あなた（お子さん）は、将来どのように暮らしたいですか。（最もあてはまるものに１つだけ〇）

就学児の将来希望する暮らし方については、「家族と暮らしたい」の割合が４１．１％と最も高く、次いで「一人で暮らしたい（グループホームを除く）」の割合が２３．１％、「わからない」の割合が２０．４％となっています。

図　将来希望する暮らし方（単一回答）



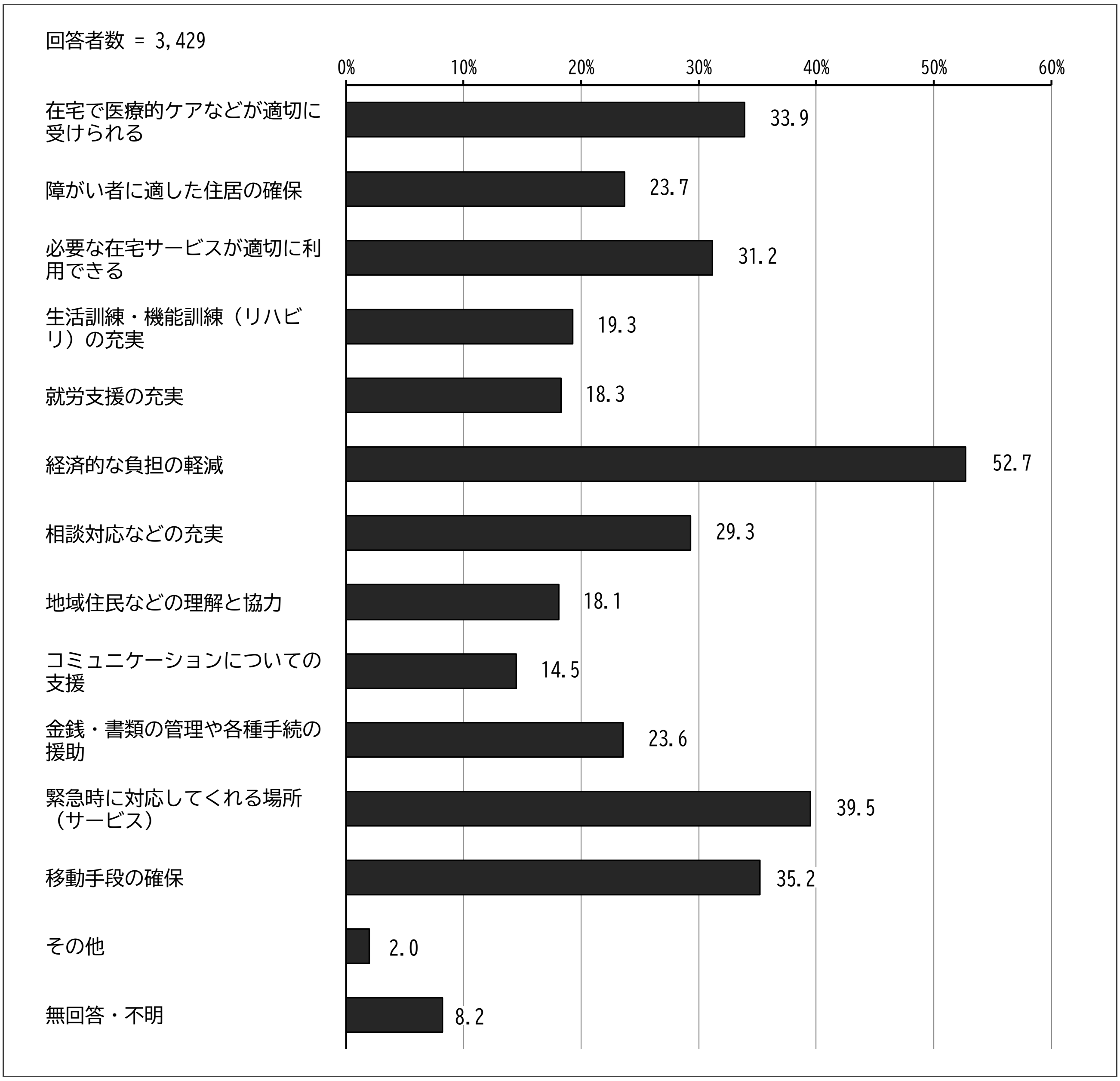
【結果報告書３３ページ】

地域で生活するために必要な支援（成人調査：問１２　複数回答）

問１２　地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。（○はいくつでも可）

「経済的な負担の軽減」の割合が５２．７％と最も高く、次いで「緊急時に対応してくれる場所（サービス）」の割合が３９．５％、「在宅で医療的ケアなどが適切に受けられる」の割合が３３．９％となっています。

図　地域で生活するために必要な支援（複数回答）



３　医療的ケアや介護について

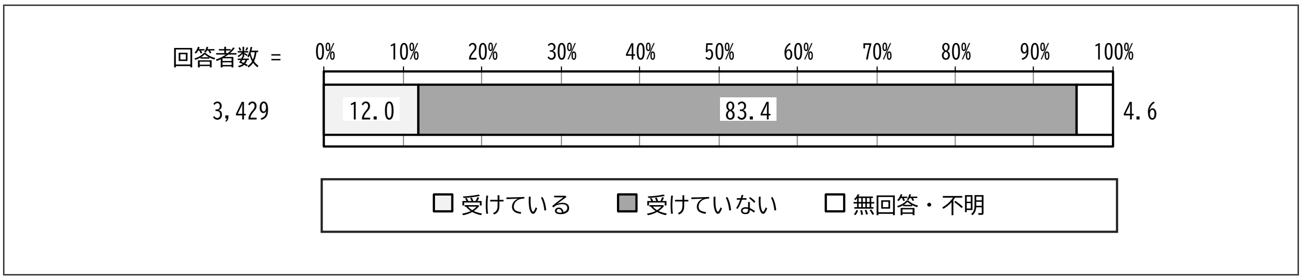
【結果報告書３５ページ】

医療的ケアの状況（成人調査：問１３　単一回答）

問１３　あなたは現在、医療的ケアを受けていますか。

「受けている」の割合が１２．０％、「受けていない」の割合が８３．４％となっています。

図　医療的ケアの状況（単一回答）



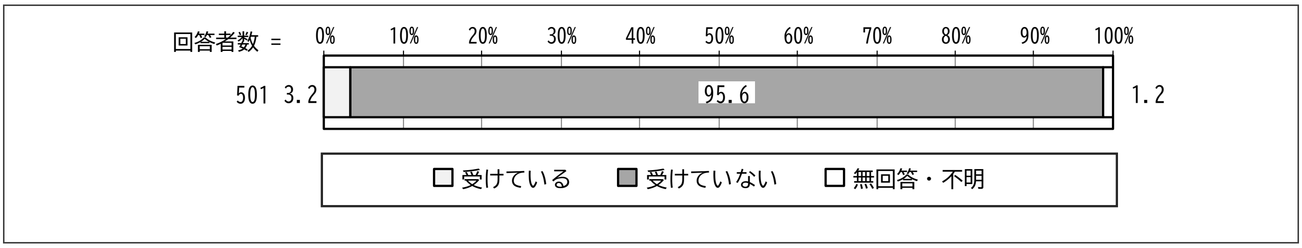
【結果報告書１０１ページ】

医療的ケアの状況（障がいのある児童調査：問７　単一回答）

問７　あなた（お子さん）は現在、医療的ケアを受けていますか。

「受けている」の割合が３．２％、「受けていない」の割合が９５．６％となっています。

図　医療的ケアの状況（単一回答）



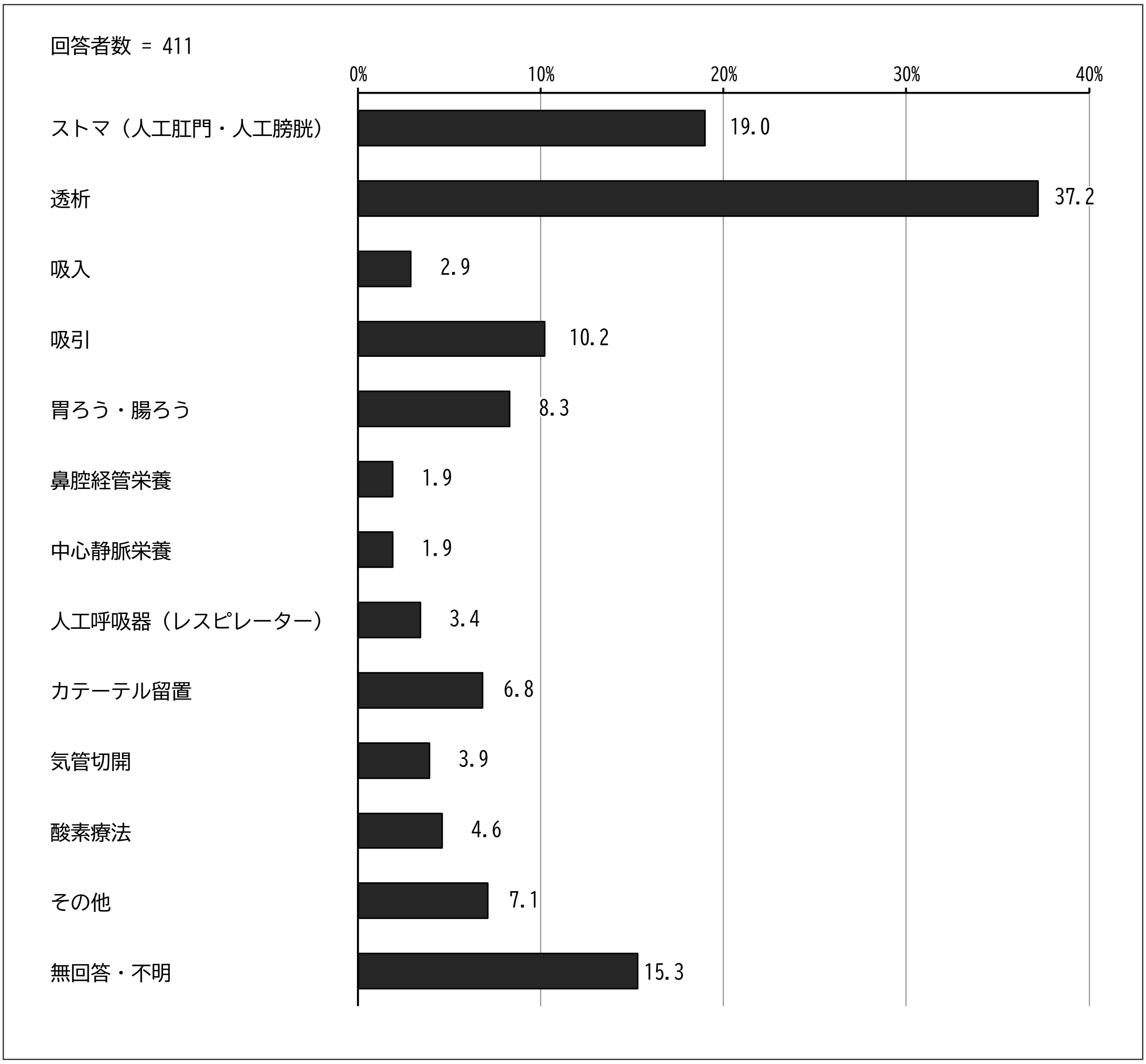
【結果報告書３６ページ】

現在受けている医療的ケアの内容（成人調査：問１３－１　複数回答）

問１３－１　あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。（○はいくつでも可）

医療的ケアを「受けている」と回答した４１１人に対し、現在受けている医療的ケアの内容について聞いたところ、「透析」の割合が３７．２％と最も高く、次いで「ストマ（人工肛門・人工膀胱）」の割合が１９．０％となっています。

図　現在受けている医療的ケアの内容（複数回答）



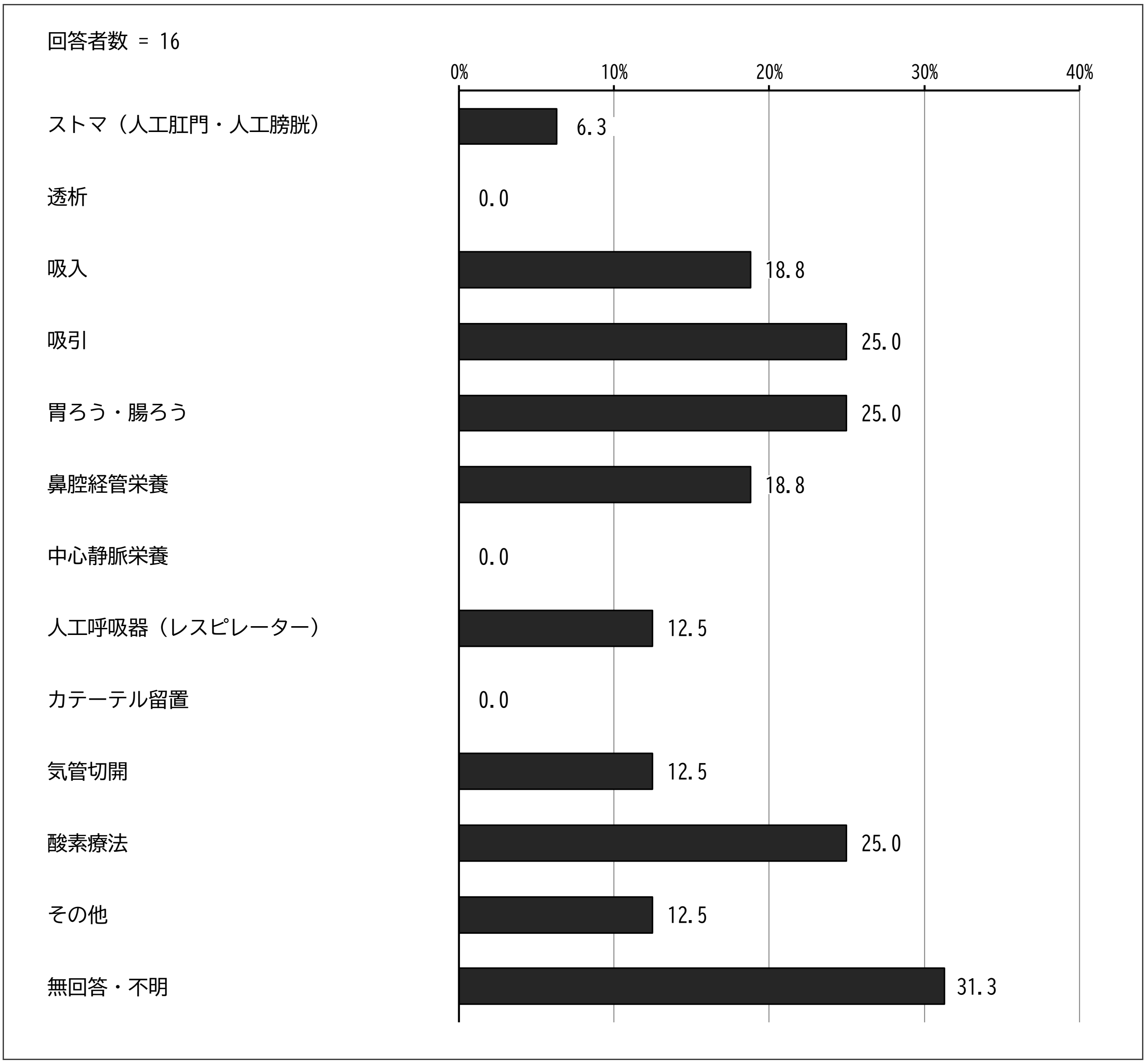
【結果報告書１０２ページ】

現在受けている医療的ケアの内容（障がいのある児童調査：問７－１　複数回答）

問７－１　あなた（お子さん）が現在、受けている医療的ケアをお答えください。（○はいくつでも可）

医療的ケアを「受けている」と回答した１６人に対し、現在受けているケアの内容について聞いたところ、「吸引」、「胃ろう・腸ろう」、「酸素療法」の割合が２５．０％と最も高く、次いで「吸入」、「鼻腔経管栄養」の割合が１８．８％となっています。

図　現在受けている医療的ケアの内容（複数回答）



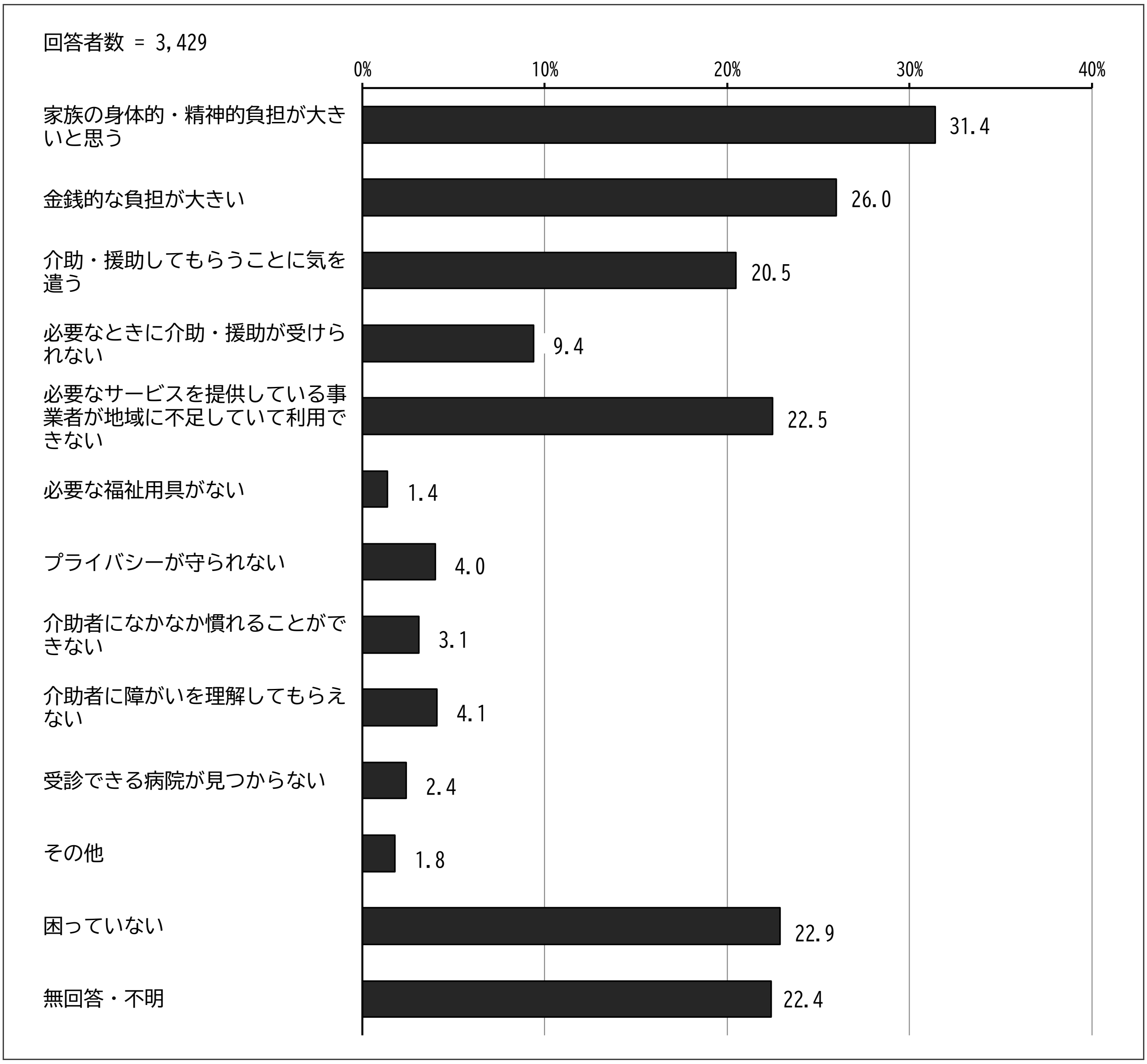
【結果報告書４３ページ】

介助・援助を受ける上で困ること（成人調査：問１５　複数回答）

問１５　介助・援助を受ける上で困ることはありますか。（○はいくつでも可）

「家族の身体的・精神的負担が大きいと思う」の割合が３１．４％と最も高く、次いで「金銭的な負担が大きい」の割合が２６．０％となっています。

図　介助・援助を受ける上で困ること（複数回答）



４　日中活動や就労について

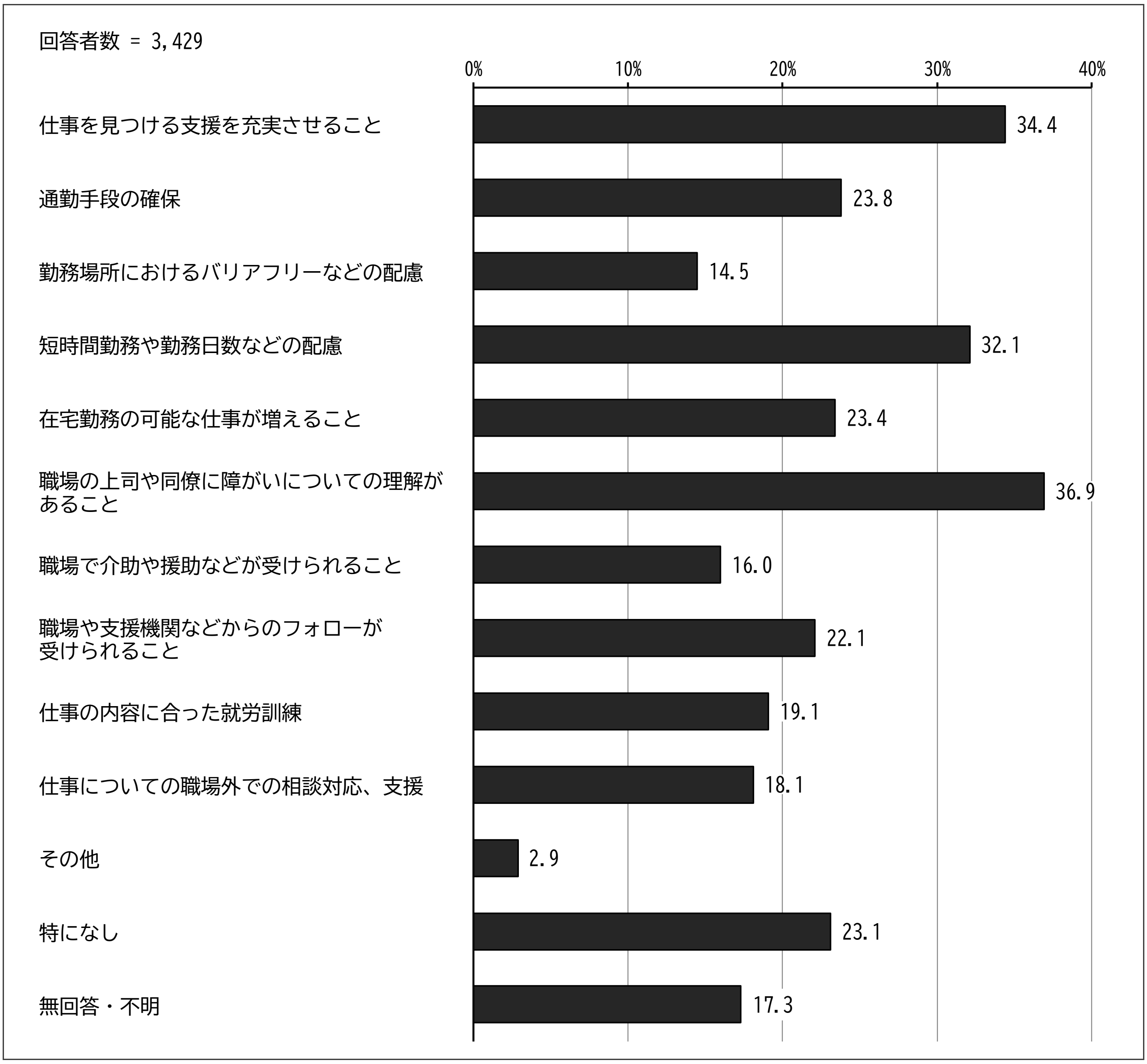
【結果報告書６１ページ】

就労に必要な支援施策（成人調査：問２０　複数回答）

問２０　障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも可）

「職場の上司や同僚に障がいについての理解があること」の割合が３６．９％と最も高く、次いで「仕事を見つける支援を充実させること」の割合が３４．４％、「短時間勤務や勤務日数などの配慮」の割合が３２．１％となっています。

図　就労に必要な支援施策（複数回答）



５　権利擁護について

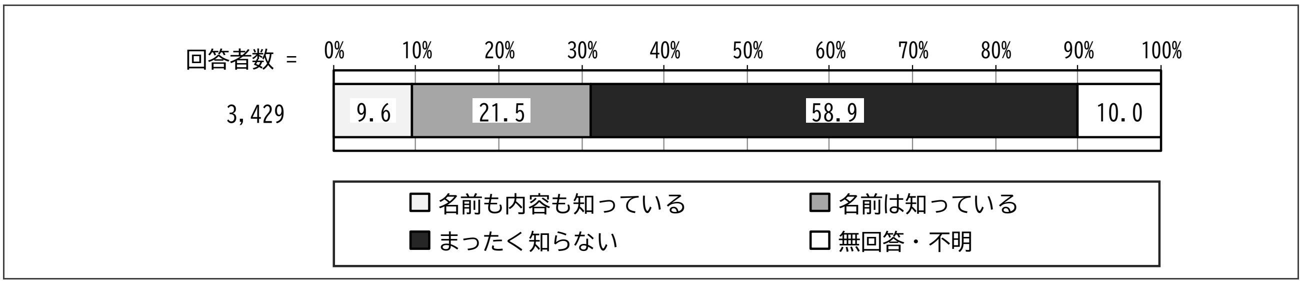
【結果報告書６３ページ】

「障害者差別解消法」の認知度（成人調査：問２１　単一回答）

問２１　あなたは、障がい者に対する「不当な差別的取扱いの禁止」や「合理的配慮の提供」について規定した「障害者差別解消法」を知っていますか。（１つに○）

「まったく知らない」の割合が５８．９％と最も高く、次いで「名前は知っている」の割合が２１．５％となっています。

図　「障害者差別解消法」の認知度（単一回答）



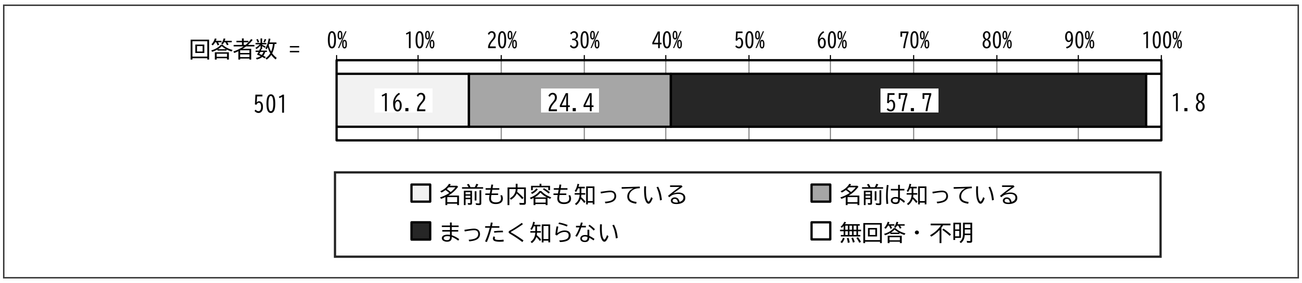
【結果報告書１４８ページ】

「障害者差別解消法」の認知度（障がいのある児童調査：問２７　単一回答）

問２７　あなた（お子さん）は、障がい者に対する「不当な差別的取扱いの禁止」や「合理的配慮の提供」について規定した「障害者差別解消法」を知っていますか。（１つに○）

「まったく知らない」の割合が５７．７％と最も高く、次いで「名前は知っている」の割合が２４．４％となっています。

図　「障害者差別解消法」の認知度（単一回答）



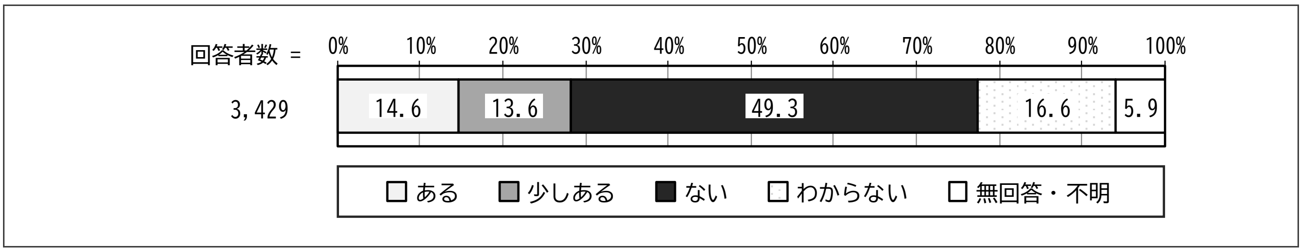
【結果報告書６４ページ】

差別や嫌な思いの有無（成人調査：問２２　単一回答）

問２２　あなたは、障がいを理由とする差別を受けたことや嫌な思いをしたことがありますか。（１つに○）

「ない」の割合が４９．３％と最も高く、次いで「わからない」の割合が１６．６％、「ある」の割合が１４．６％となっています。

図　差別や嫌な思いの有無（単一回答）



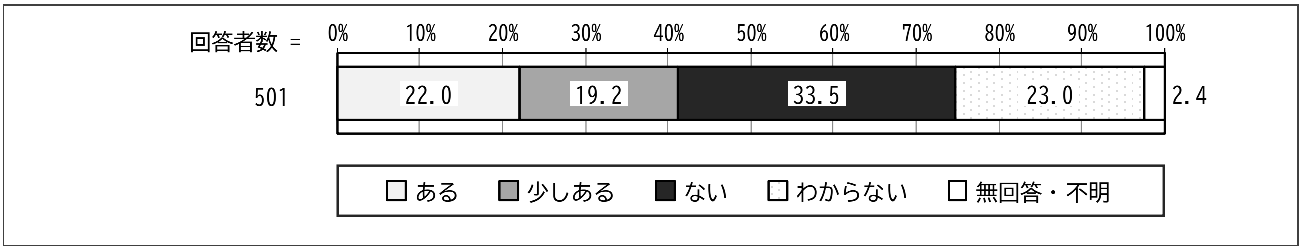
【結果報告書１４９ページ】

差別や嫌な思いの有無（障がいのある児童調査：問２８　単一回答）

問２８　あなた（お子さん）は、障がいを理由とする差別を受けたことや嫌な思いをしたことがありますか。（１つに○）

「ない」の割合が３３．５％と最も高く、次いで「わからない」の割合が２３．０％、「ある」の割合が２２．０％となっています。

図　差別や嫌な思いの有無（単一回答）



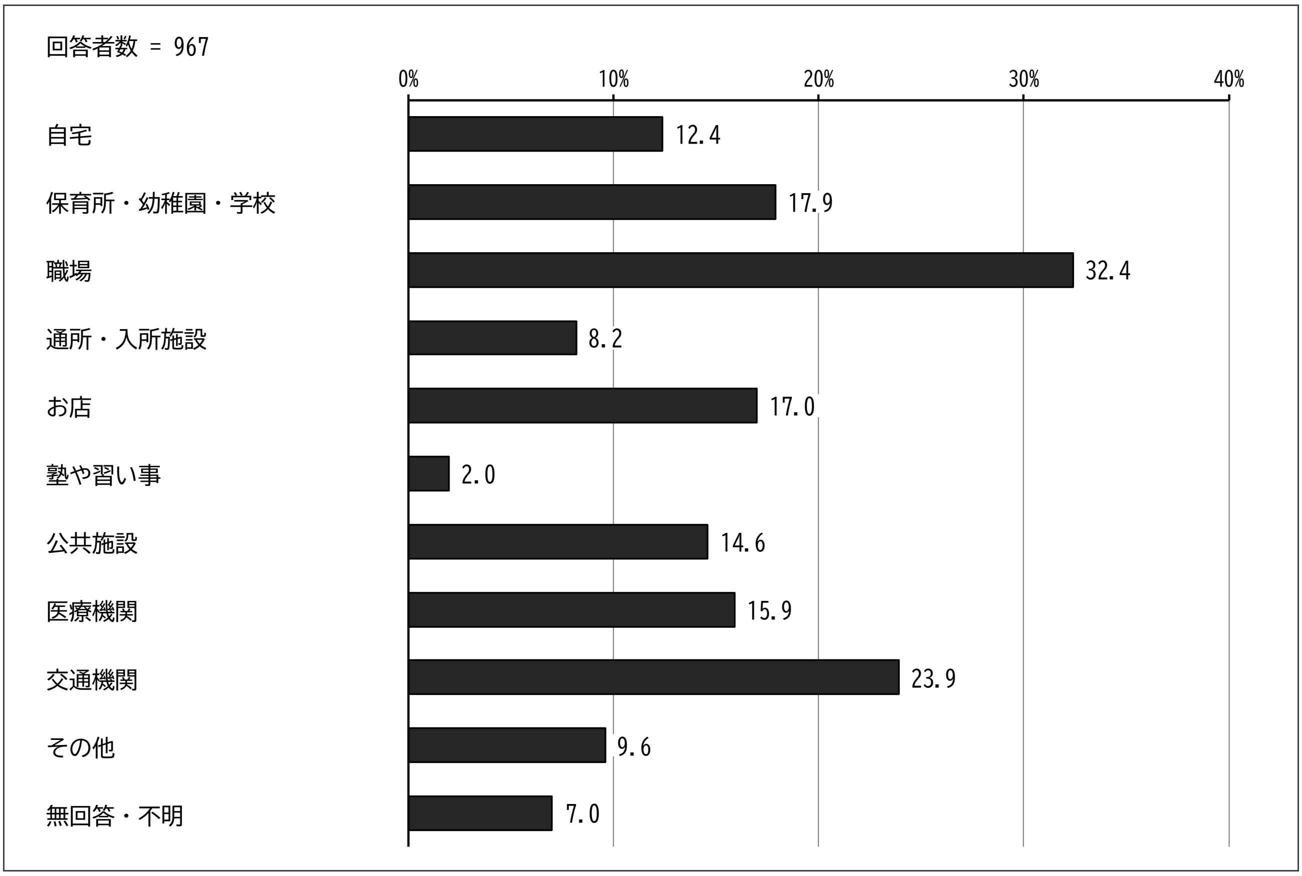
【結果報告書６５ページ】

差別を受けたり嫌な思いをした場所（成人調査：問２２－１　複数回答）

問２２－１　どのような場所で差別を受けたり嫌な思いをしたりしましたか。（○はいくつでも可）

差別を受けたり嫌な思いをしたことが“ある”と回答した９６７人に対し、その場所について聞いたところ、「職場」の割合が３２．４％と最も高く、次いで「交通機関」の割合が２３．９％となっています。

図　差別を受けたり嫌な思いをした場所（複数回答）



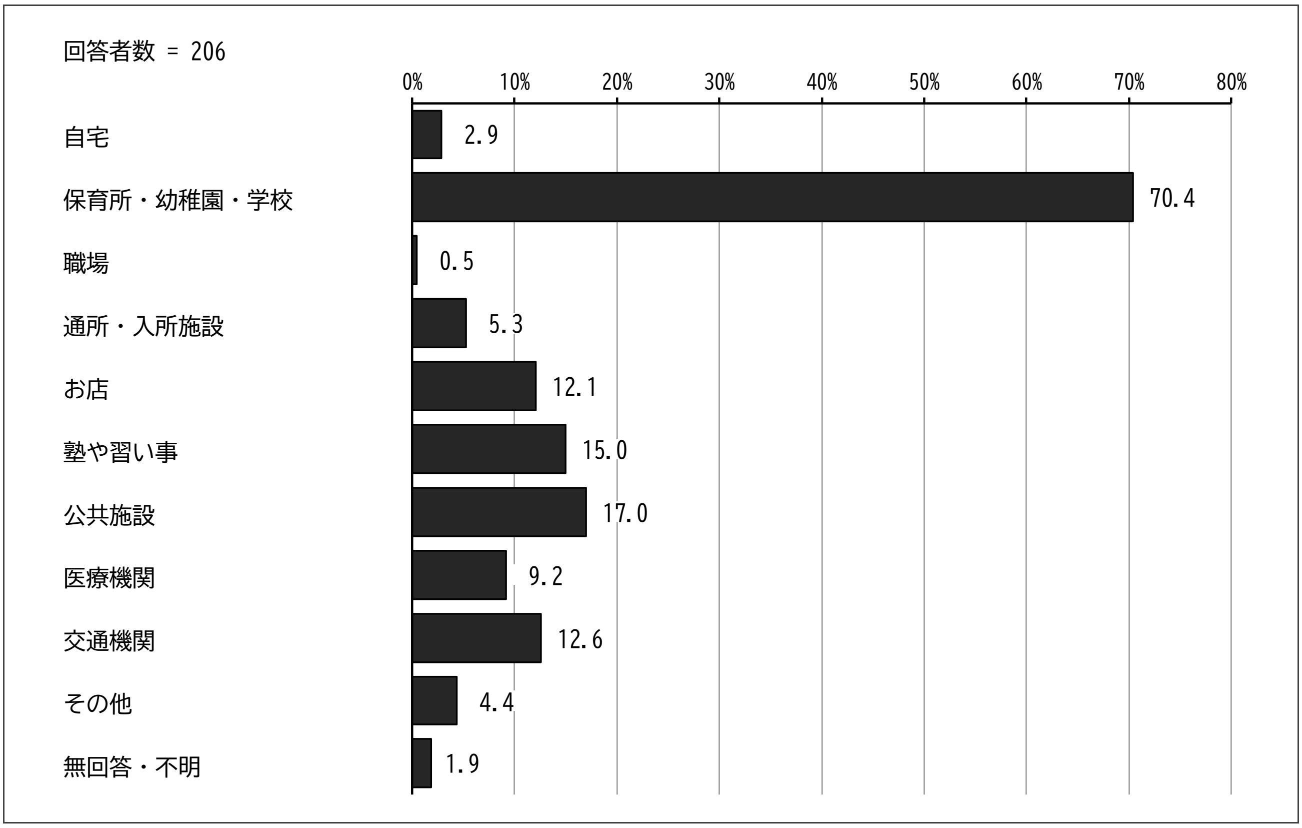
【結果報告書１５０ページ】

差別を受けたり嫌な思いをした場所（障がいのある児童調査：問２８－１　複数回答）

問２８－１　どのような場所で差別を受けたり嫌な思いをしたりしましたか。（○はいくつでも可）

差別を受けたり嫌な思いをしたことが“ある”と回答した２０６人に対し、その場所について聞いたところ、「保育所・幼稚園・学校」の割合が７０．４％と最も高く、次いで「公共施設」の割合が１７．０％となっています。

図　差別を受けたり嫌な思いをした場所（複数回答）



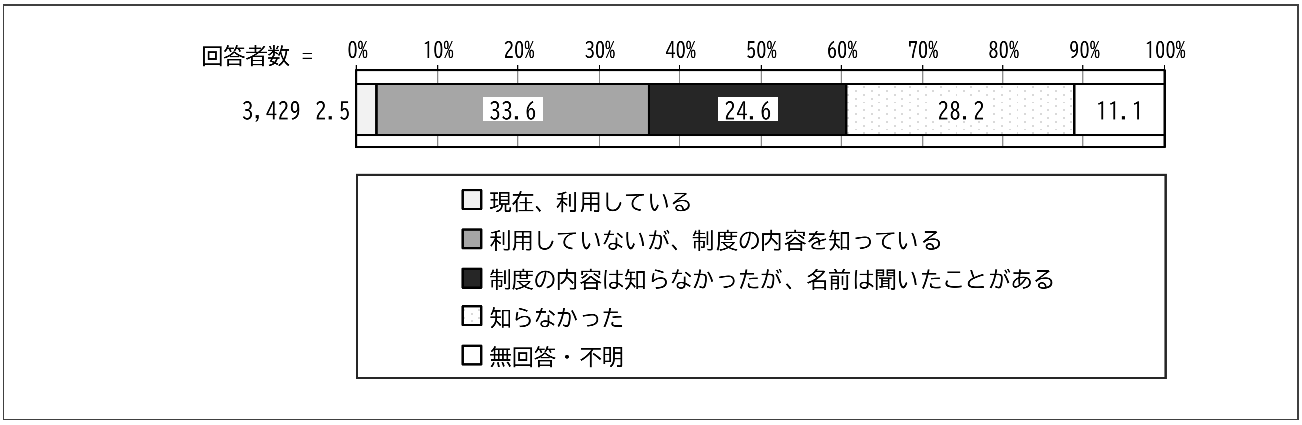
【結果報告書６９ページ】

成年後見制度の認知度（成人調査：問２４　単一回答）

問２４　成年後見制度について知っていますか。（１つに○）

「利用していないが、制度の内容を知っている」の割合が３３．６％と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が２８．２％、「制度の内容は知らなかったが、名前は聞いたことがある」の割合が２４．６％となっています。

図　成年後見制度の認知度（単一回答）



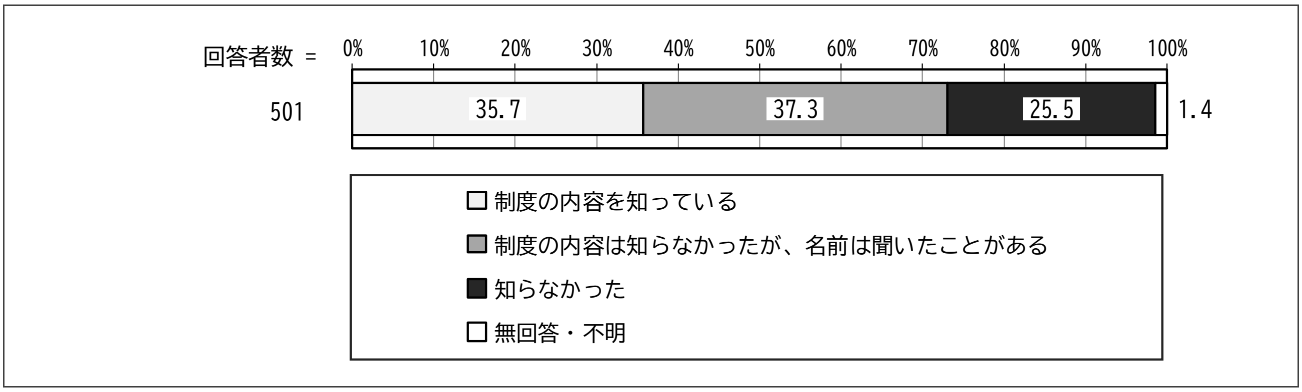
【結果報告書１５３ページ】

成年後見制度の認知度（障がいのある児童調査：問３０　単一回答）

問３０　成年後見制度について知っていますか。（１つに○）

「制度の内容は知らなかったが、名前は聞いたことがある」の割合が３７．３％と最も高く、次いで「制度の内容を知っている」の割合が３５．７％となっています。

図　成年後見制度の認知度（単一回答）



６　コミュニケーションについて

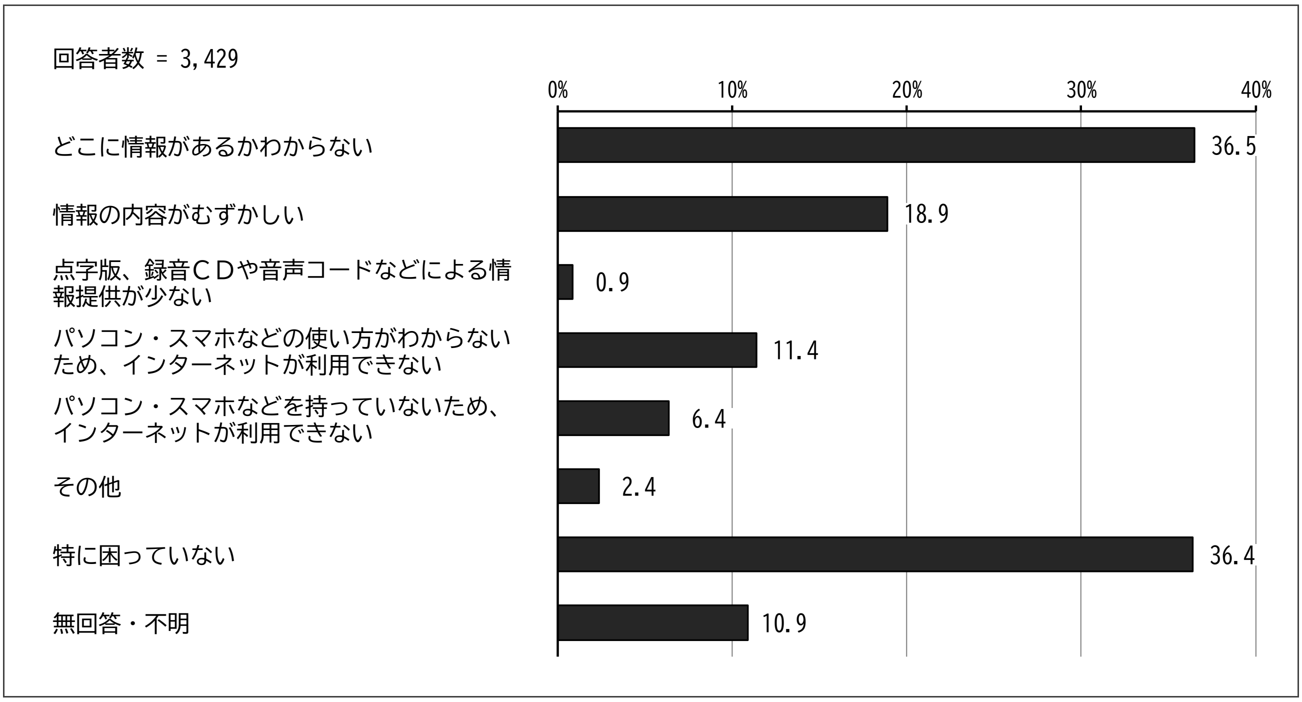
【結果報告書７７ページ】

福祉情報の入手について困っていること（成人調査：問２７　複数回答）

問２７　福祉に関する情報の入手についてあなたが困っていることはありますか。（○はいくつでも可）

「どこに情報があるかわからない」の割合が３６．５％と最も高く、次いで「特に困っていない」の割合が３６．４％、「情報の内容がむずかしい」の割合が１８．９％となっています。

図　福祉情報の入手について困っていること（複数回答）



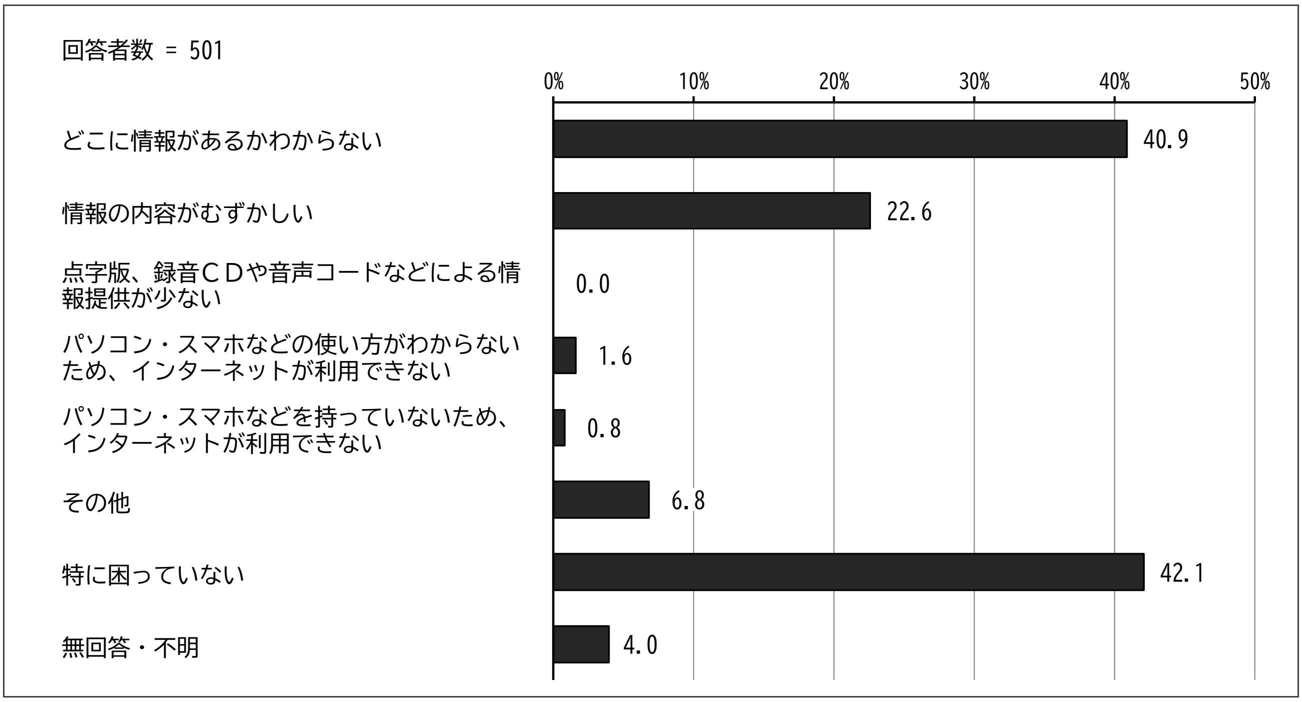
【結果報告書１４２ページ】

福祉情報の入手について困っていること（障がいのある児童調査：問２５　複数回答）

問２５　福祉に関する情報の入手についてあなた（お子さん）が困っていることはありますか。（○はいくつでも可）

「特に困っていない」の割合が４２．１％と最も高く、次いで「どこに情報があるかわからない」の割合が４０．９％、「情報の内容がむずかしい」の割合が２２．６％となっています。

図　福祉情報の入手について困っていること（複数回答）



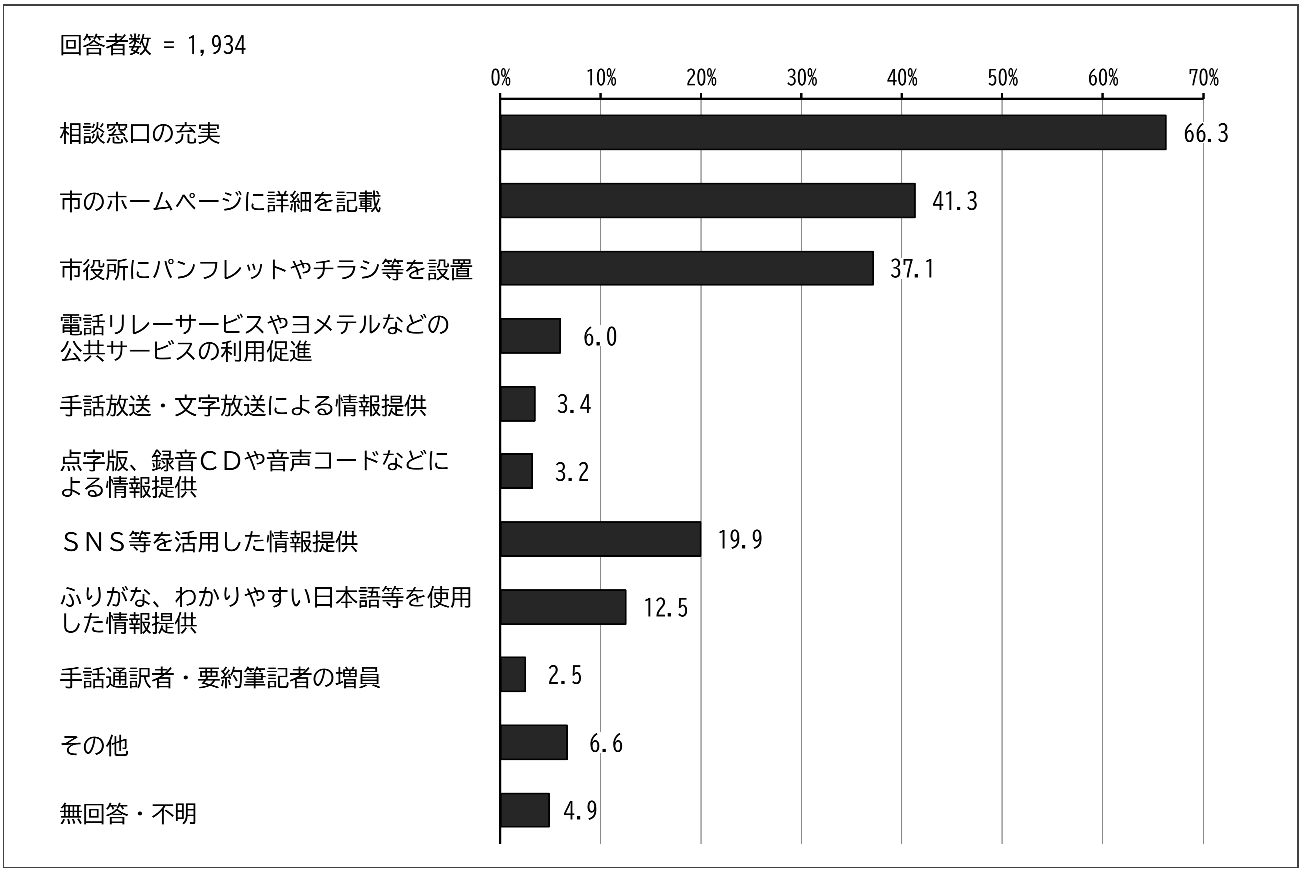
【結果報告書８２ページ】

情報不足の改善方法（成人調査：問２８－２　複数回答）

問２８－２　情報が不足している場合、どのように改善したら良いと思いますか。（○はいくつでも可）

　福祉情報について“不足している”と回答した１，９３４人に対し、情報不足の改善方法について聞いたところ、「相談窓口の充実」の割合が６６．３％と最も高く、次いで「市のホームページに詳細を記載」の割合が４１．３％、「市役所にパンフレットやチラシ等を設置」の割合が３７．１％となっています。

図　情報不足の改善方法（複数回答）



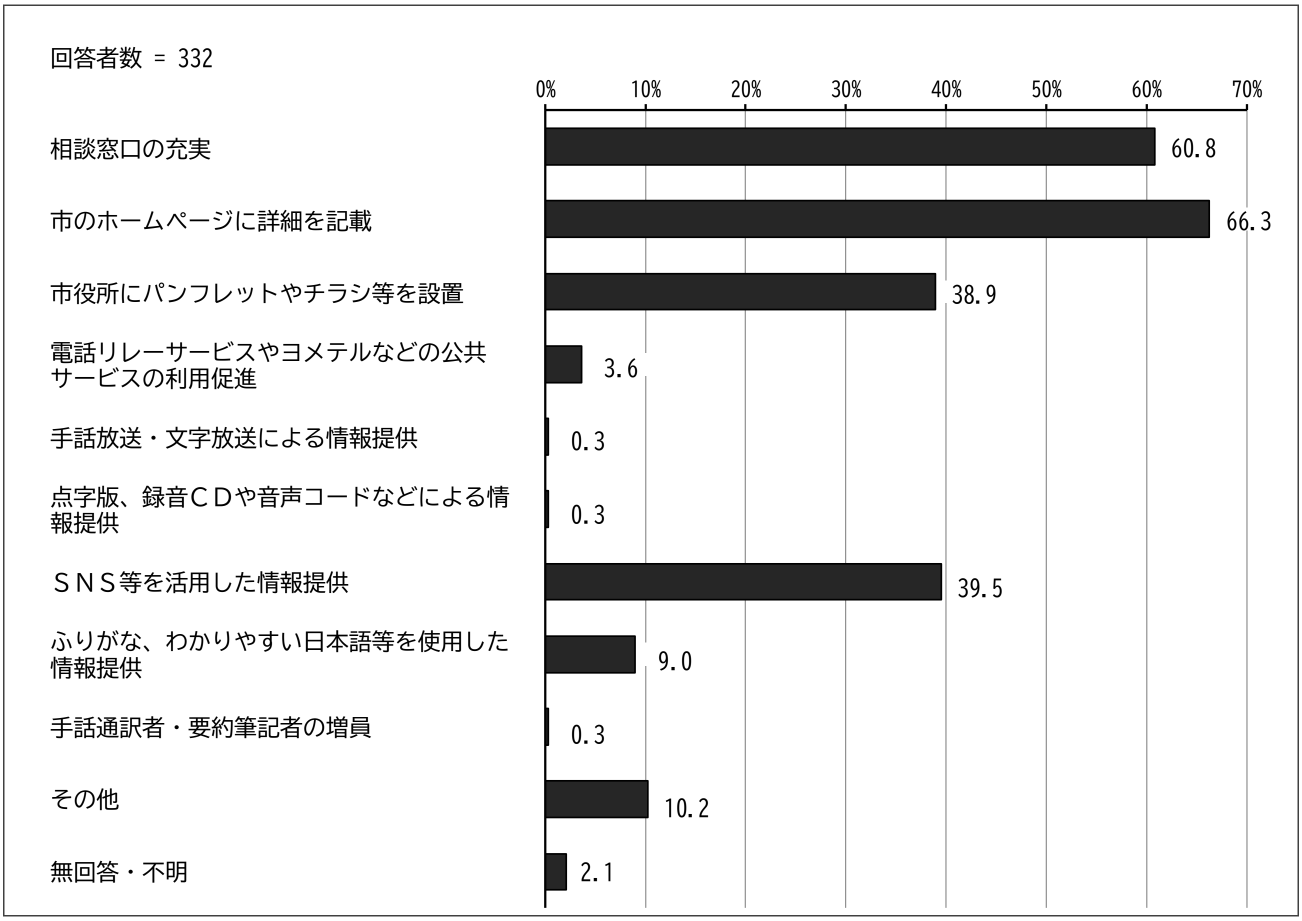
【結果報告書１４６ページ】

情報不足の改善方法（障がいのある児童調査：問２６－２　複数回答）

問２６－２　情報が不足している場合、どのように改善したら良いと思いますか。（○はいくつでも可）

福祉情報について“不足している”と回答した３３２人に対し、情報不足の改善策について聞いたところ「市のホームページに詳細を記載」の割合が６６．３％と最も高く、次いで「相談窓口の充実」の割合が６０．８％、「ＳＮＳ等を活用した情報提供」の割合が３９．５％となっています。

図　情報不足の改善方法（複数回答）



７　災害時の避難について

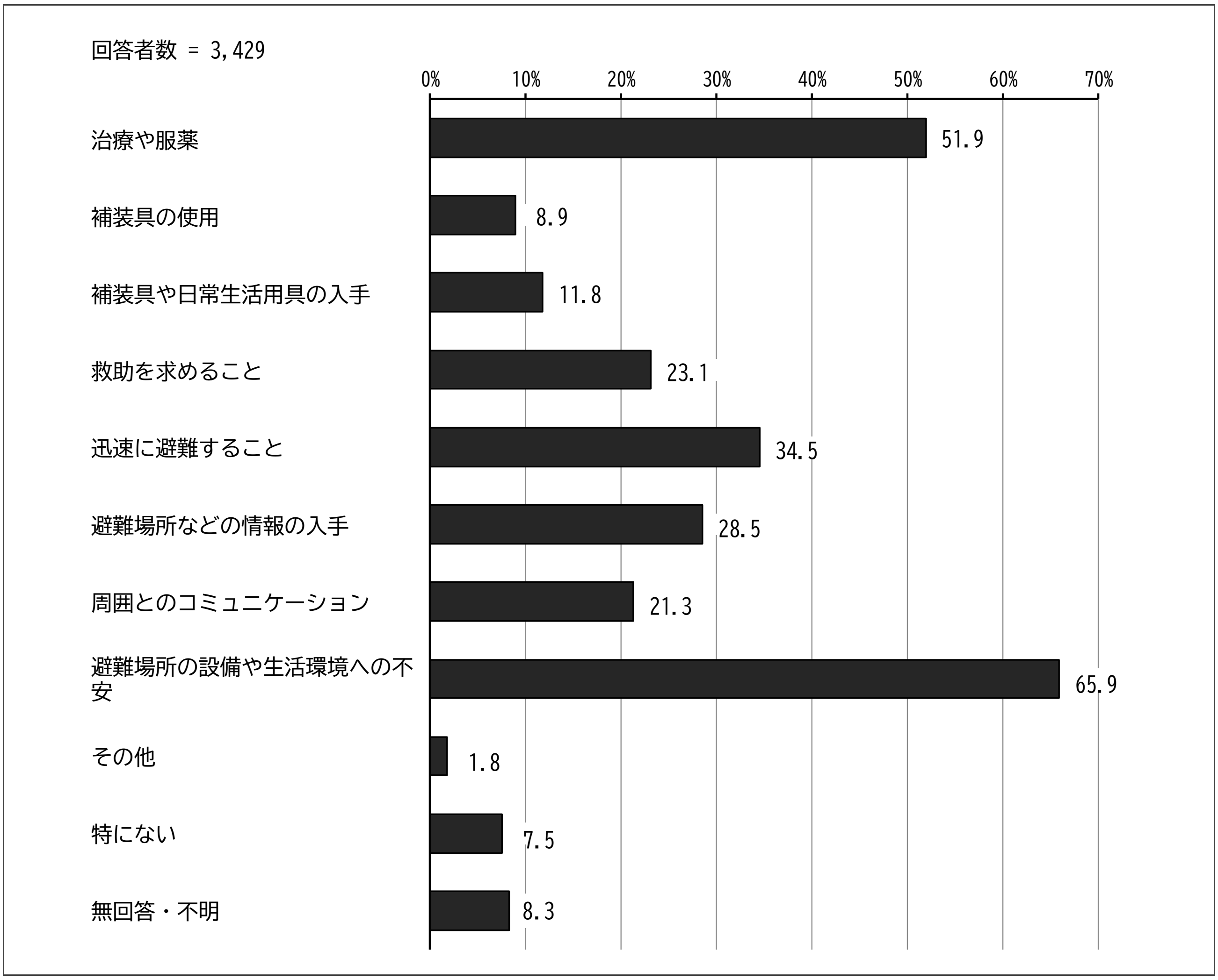
【結果報告書８４ページ】

災害時に困ること（成人調査：問２９　複数回答）

問２９　地震や水害などの災害時に困ることは何ですか。（○はいくつでも可）

「避難場所の設備や生活環境への不安」の割合が６５．９％と最も高く、次いで「治療や服薬」の割合が５１．９％、「迅速に避難すること」の割合が３４．５％となっています。

図　災害時に困ること（複数回答）



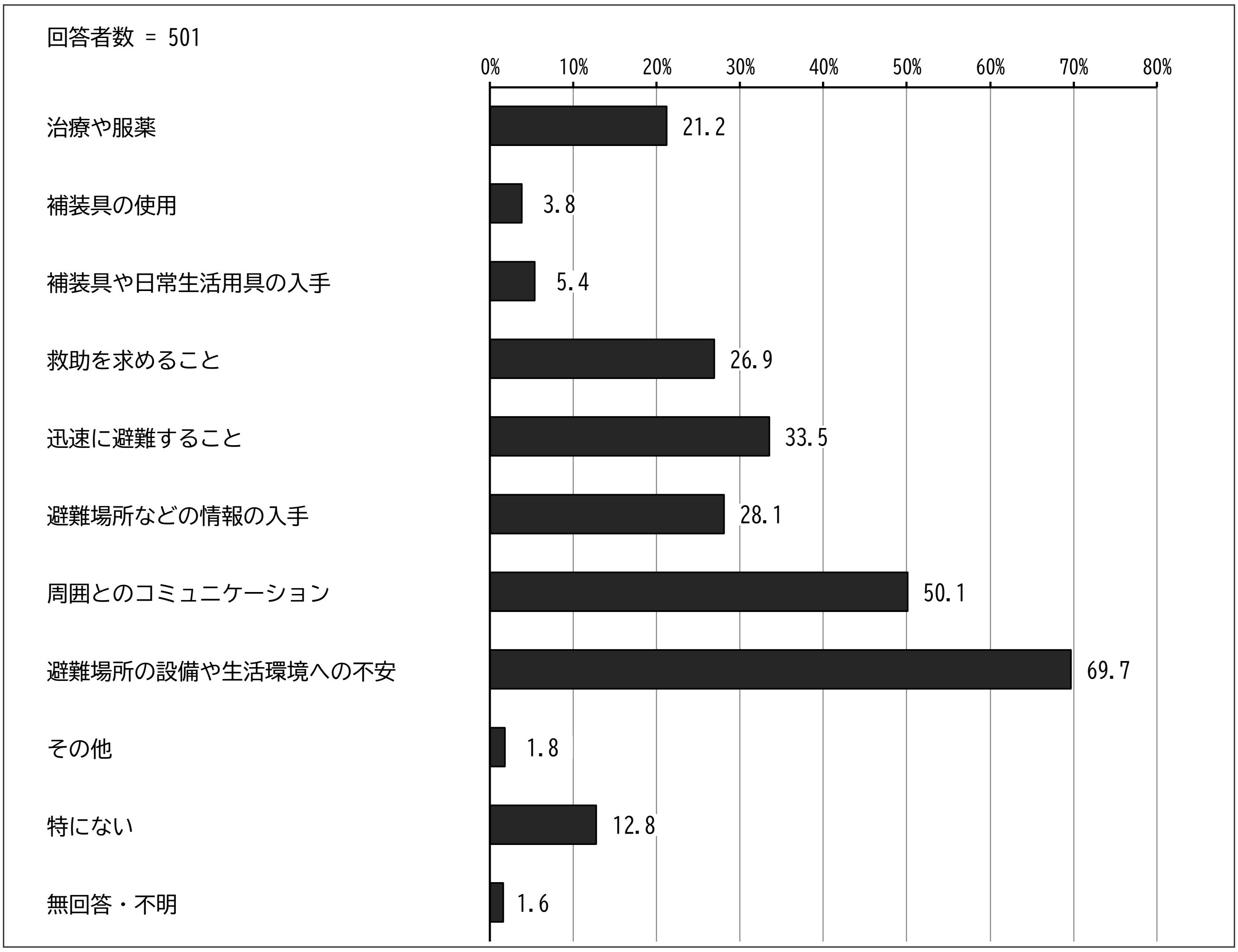
【結果報告書１５６ページ】

災害時に困ること（障がいのある児童調査：問３２　複数回答）

問３２　地震や水害などの災害時に困ることは何ですか。（○はいくつでも可）

「避難場所の設備や生活環境への不安」の割合が６９．７％と最も高く、次いで「周囲とのコミュニケーション」の割合が５０．１％、「迅速に避難すること」の割合が３３．５％となっています。

図　災害時に困ること（複数回答）



８　保護者の方への調査について（障がいのある児童）

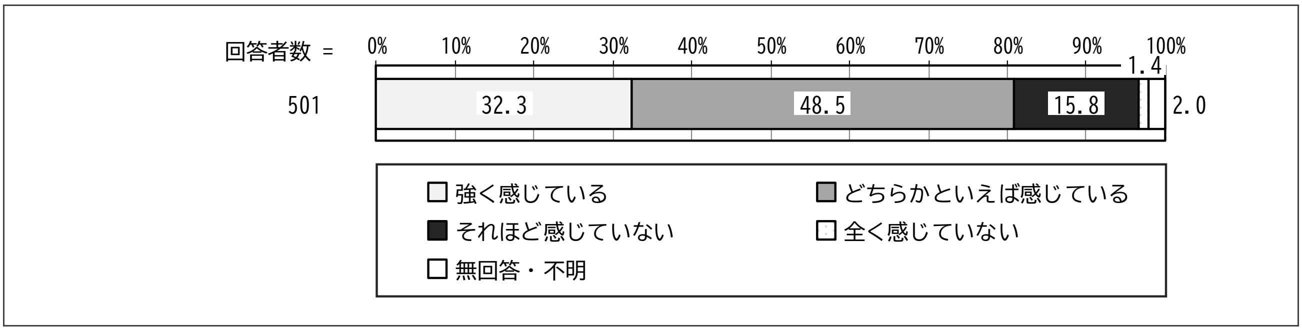
【結果報告書１６０ページ】

療育や子育ての不安（障がいのある児童調査：問３３　単一回答）

問３３　療育や子育てのことに関して、不安を感じることはありますか。（１つに○）

「強く感じている」と「どちらかといえば感じている」をあわせた“感じている”の割合が８０．８％、「それほど感じていない」と「全く感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が１７．２％となっています。

図　療育や子育てに関しての不安（単一回答）



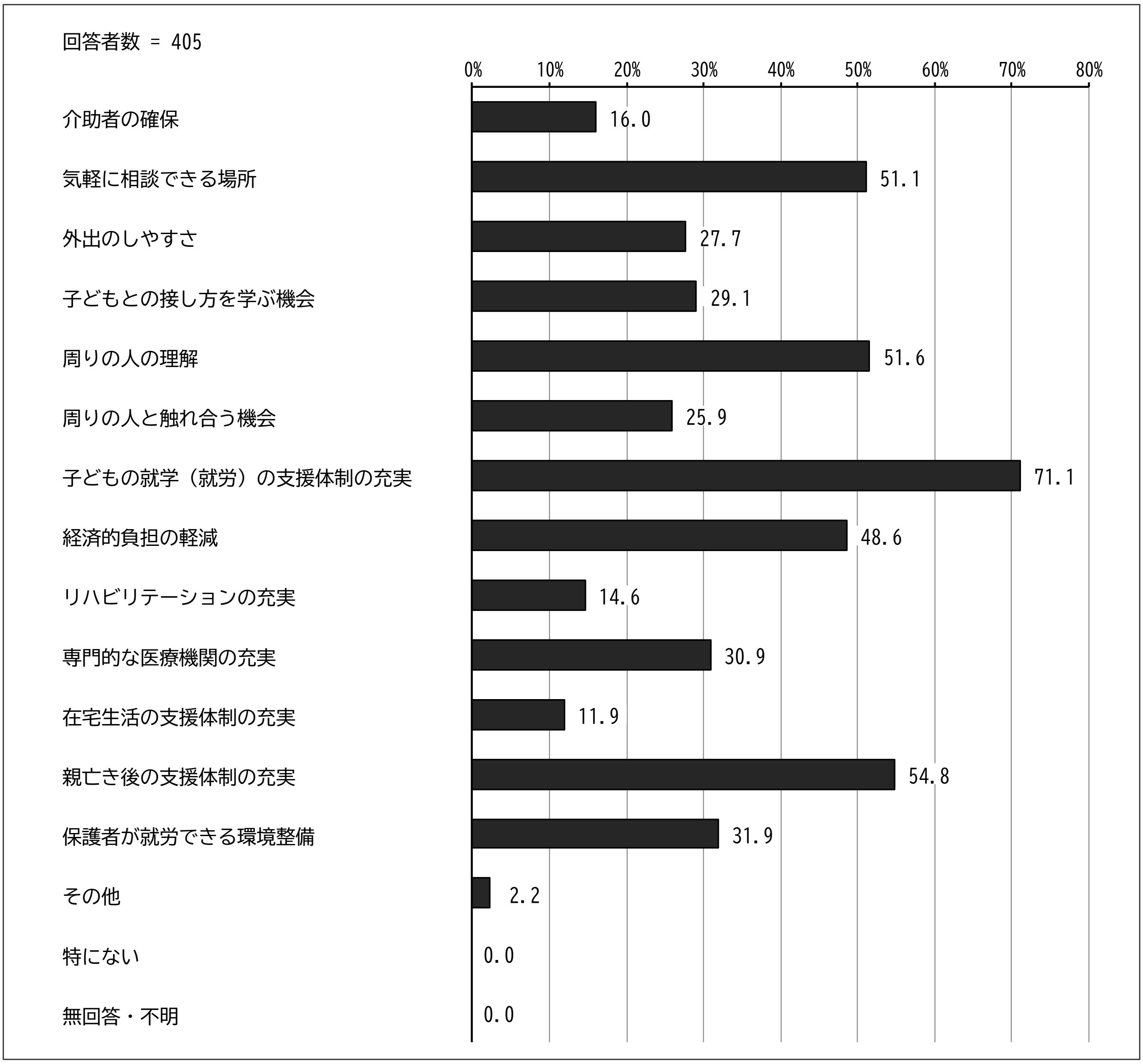
【結果報告書１６１ページ】

不安を解消するために望むこと（障がいのある児童調査：問３３－１　複数回答）

問３３－１　不安を解消するために望むことはどんなことですか。（○はいくつでも可）

療育や子育てに関する不安を“感じている”と回答した４０５人に対し、その内容について聞いたところ、「子どもの就学（就労）の支援体制の充実」の割合が７１．１％と最も高く、次いで「親亡き後の支援体制の充実」の割合が５４．８％、「周りの人の理解」の割合が５１．６％となっています。

図　不安を解消するために望むこと（複数回答）



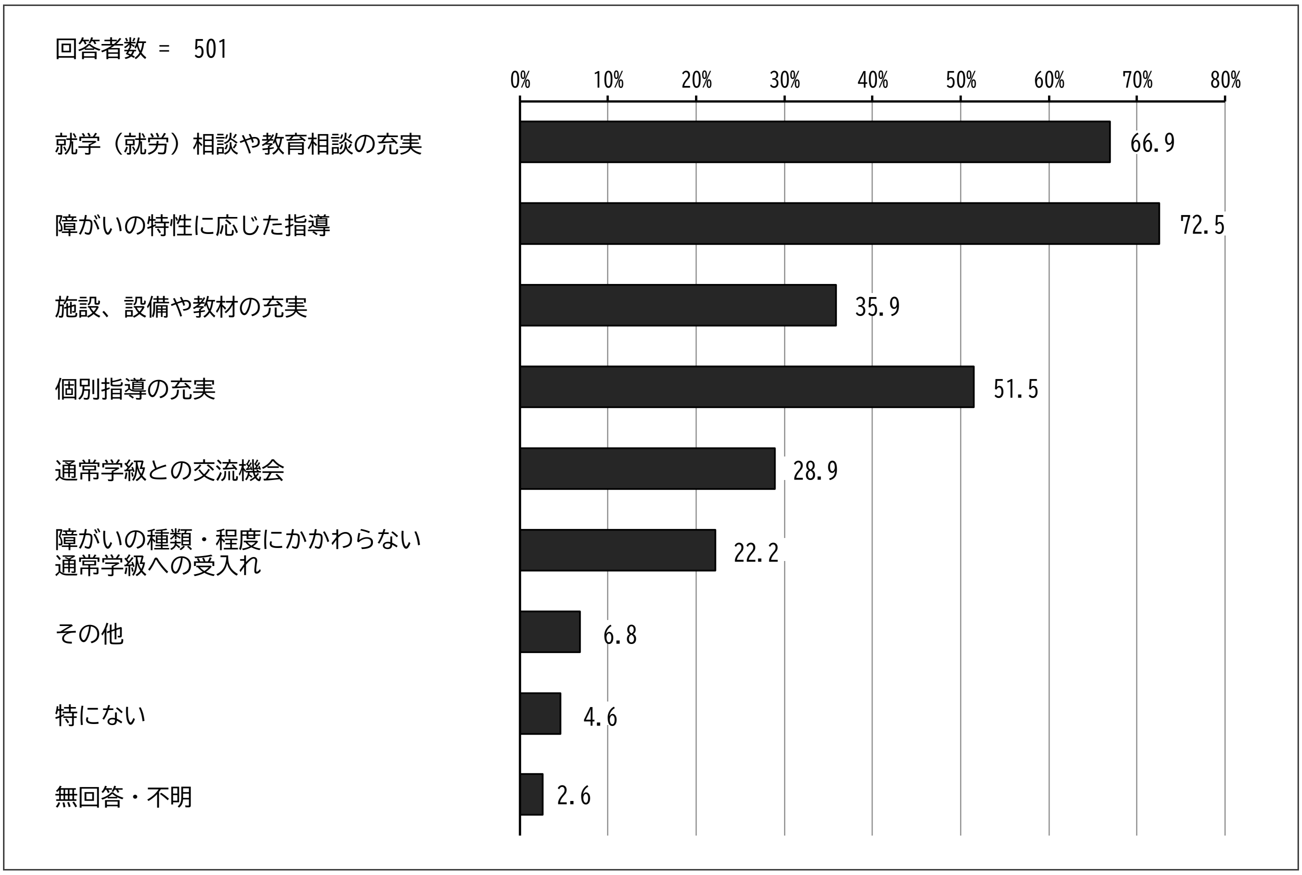
【結果報告書１６３ページ】

学校に望むこと（障がいのある児童調査：問３４　複数回答）

問３４　学校教育に望むことはどのようなことですか。（〇はいくつでも可）

「障がいの特性に応じた指導」の割合が７２．５％と最も高く、次いで「就学（就労）相談や教育相談の充実」の割合が６６．９％、「個別指導の充実」の割合が５１．５％となっています。

図　学校に望むこと（複数回答）



障がいのある人もない人も共に暮らせる
新座市をつくるための調査
結果報告書
【概要版】

発行日　令和８年３月
発　行　新座市
編　集　新座市総合福祉部障がい者福祉課
〒３５２-８６２３
埼玉県新座市野火止一丁目１番１号